17 カーテンウォール工事

1 メタルカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。

カーテンウォール材料の種類 (17.2.2)

種類	規格等
※アルミニウム製	※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による

カーテンウォール方式
- ・方立方式
- ・バックマリオン方式 （・単純2辺支持構法 ・SSG構法）
- ・スパンドレル方式
- ・パネル方式
- ・小型パネル組み合わせ方式 （・ノックダウン方式 ・ユニット方式）

シーリング材及びガラス取付け材料 (9.6.2) (17.2.2) (表9.6.1)

下記以外は標仕表9.6.1による

被着体の組合せ		シーリング材の種別		
		記号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス			
	石、タイル			
ガラス	ガラス			

構造用ガスケット ※適用しない (17.2.2)
・適用する（施工箇所：図示 ）

断熱材 ※適用しない (17.2.2)
・適用する（種類： 厚さ（mm） ：施工個所※図示 ）

製品の寸法許容差 ※標仕表17.2.1による (17.2.3) (表17.2.1)
・製造所標準製作規定寸法許容差による

アルミニウムの表面処理 (17.2.3) (表14.2.1)

種別		色彩等
・A−1種 ・B−1種		無着色
・A−2種 ・B−2種		・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー ・
・着色塗膜	塗装材料（ ）焼付け方法（ ）コート（ ）ベーク	

耐風圧性能 (17.1.3)
性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧 N/m²以上及び負圧 N/m²以上に対して安全であること。

主要部材のたわみ

支点間距離（h）	たわみ量	状態
※4m以下	※± (1/150) × h かつ絶対量20mm以下	※各部の破損、残留変形有害な変形が起こらないこと
・4mを超える		

耐震性能 (17.1.3)
設計用震度 水平方向（K_H） ※1.0 ・
垂直方向（K_V） ※0.5 ・

建物の構造種別	層間変位量（h＝支点間距離）	状態
鉄骨造	※± (1/100) ×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらない シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※± (1/200) ×h以上	

水密性 ・W−4 ・W−5 ・ (17.1.3)
気密性 ・A−3 ・A−4 ・ (17.1.3)
耐火性能 ※適用しない ・適用する（ 時間、施工箇所：図示）
映像調整 ※行わない ・行う（建具表による）

2 PCカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS 14による。

コンクリートの種類及び品質 (17.3.2)
※標仕17.3.2による
・下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（Fc）	所要スランプ（cm）

鉄筋 ※SD295A ・

取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質 (14.2.3) (表14.2.2)

金物種類及び部位	内部	外部
各種付属金物	※E種 ・	※A種 ・
PC版打込み取付けボルト	※E種 ・	※ステンレスボルト

上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による

シーリング材料 (9.6.2) (17.3.2) (表9.6.1)
下記以外は標仕表9.6.1による

施工箇所	シーリング材の種別		
	記号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板間目地			

断熱材 ※適用しない
・適用する （種類： 厚さ（mm） ：施工箇所 ※図示）

製品の寸法許容差 ※標仕表17.3.1による (17.3.3) (表17.3.1)
・製造所標準製作規定寸法許容差による

表面仕上げ （ ）

耐火材料

施工部位	種別	規格等
・ファスナー部		
・取付けブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		

耐風圧性能 (17.1.3)
性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧 N/m²以上及び負圧 N/m²以上に対して安全であること。

耐震性能 (17.1.3)
設計用震度 水平方向（K_H） ※1.0 ・
垂直方向（K_V） ※0.5 ・

建物の構造種別	層間変位量（h＝支点間距離）	状態
鉄骨造	※± (1/100) ×h以上	※部材が損傷せず、破損脱落もしない。 ガラス等の破損もない シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※± (1/200) ×h以上	

18 塗装工事

① 材料
屋内の壁、天井仕上げ材は防火材料とする (18.1.3)
建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・第三種

② 塗装見本塗り
施工前に見本塗板を作製して監督職員の承認を得る事 (18.1.5)

③ 素地ごしらえ
亜鉛めっき面の素地ごしらえの種別 (18.2.4) (表18.2.3) (表18.3.4)

種別	施工部位及び塗料種別
A種	鋼製の建具及び、2液形ポリウレタンエナメル塗り、常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗りの場合
B種	A種、C種以外
C種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合

せっこうボード及びその他のボード面の素地ごしらえの種別 (18.2.7) (表18.2.7)
種別 ※A種 ・B種（施工箇所： ）

4 防腐用塗料塗り
高性能木材保護着色塗料

工程	材料	工法	乾燥時間	基準使用量	備考
下塗り		刷毛塗 1回塗 スプレーは不可	2〜6時間	10〜20㎡／L	針葉樹のみ使用 ・広葉樹は不要
上塗り		刷毛塗 針葉樹 2回塗 広葉樹 3回塗 スプレーは不可	12時間以上 低温時3日以上 多湿時3日以上	5〜7㎡／L	

⑤ クリヤーラッカー塗 (CL)
標仕による (18.5.1) (表18.5.1)

⑥ オイルステイン塗 (OS・OSC)
標仕による (18.15.2) （表18.16.1）
オイルステインワニス塗（OSC)はオイルステイン塗りの上、アクリル樹脂系ワニス塗とする

7 耐火塗料塗
国交省認定仕様品
性能： ・1時間 ・2時間
用途： ・屋外用 ・屋内用
・防火被覆：SK化研 ﾀｲｶｺｰﾄ【認定番号:CC-0001】 同等以上

19 内装工事

① 一般事項
・本工事に使用する材料は全てJIS規格品を原則とする。但し、特殊な資材は此れに準拠するものとし、事前に見本品又は見本張りと資料を提出して監督職員の承認を得る事。
・本工事に使用する下地材は、特記以外限り、塗装下地はシナ合板、その他はラワンとする。
尚、水周りの部分はタイプⅠ耐水合板とする。
・目透かし貼りの目地底は仕上材同等品又は、監督職員の指示するテープ貼りを施す事。

② 接着剤 (19.2.2) (19.3.3)
壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・第三種
※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

3 ビニル床シート貼
・仕様、種類は図示による (19.2.2)

種類	色柄	標準仕様	厚さ（mm）
※発泡層のないもの	※無地 ・マーブル柄	・ﾀｼﾞﾏ ﾊﾟｰﾏﾘｭｰｽﾄﾘｰﾄ 同等品以上	※2.5
・発泡層のあるもの	※柄物 ・無地		

工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所： ） (19.2.3)

4 ビニル床タイル貼
・仕様、種類は図示による (19.2.2)

種類	JISの記号	標準仕様	厚さ（mm）
※コンポジションビニル床タイル（半硬質）	CT		※2
・コンポジションビニル床タイル（軟質）	CTS		
・ホモジニアスビニル床タイル	HT		

(19.2.2)

5 ビニル幅木
高さ（mm） ※60 ・75 ・100 (19.2.2)

6 カーペット敷き
・織じゅうたん ・仕様、種類は図示による (19.3.3,4) (表19.3.1,2)

種別	パイル形状	色柄等	標準仕様
・A種	・カットパイル	※無地	
・B種	・ループパイル	・柄物（標準品）	
・C種	・カット、ループパイル併用		

耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・

・タフテッドカーペット ・仕様、種類は図示による (19.3.3,4) (表19.3.2)

パイル形状	パイル長（mm）	工法	標準仕様
・カットパイル	※5〜7 ・	※全面接着工法 ・グリッパー工法	
・ループパイル	※4〜6 ・		
・カット、ループ併用			

耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・

・タイルカーペット ・仕様、種類は図示による (19.3.3) (表19.3.2)

パイル形状	種類	寸法（mm）	総厚さ（mm）	標準仕様
※ループパイル	※第一種 ・第二種	※500×500	※6.5	
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

耐電性 ・人体帯電圧3kV以下（フリーアクセスフロア敷設範囲）
・

7 合成樹脂塗床 (19.4.2,3) (表19.4.1〜7)

種別	仕上げの種類	標準仕様
・弾性ウレタン塗床材	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ	
・エポキシ樹脂塗床材	※薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑 ・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑 ・防滑） ・防滑仕上げ	

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 (19.4.2)
・種類： ・防塵用 ・防滑用 ・耐薬品用 ・耐摩耗用 ・その他（ ）
・仕様: ＡＢＣ商会 ケミクリートＥ 同等品以上

8 フローリング貼
・仕様、種類は図示による (19.5.2〜7) （表19.5.1〜4）

種別	工法	標準仕様
・単層フローリング ・天然木化粧複合フローリング ・特殊加工化粧複合フローリング	※釘打ち工法 ・接着工法	
・フーロリングブロック	※湿式工法	
・モザイクパーケット	・接着工法	
・フローリングボード（積層含）	※釘打ち工法	

樹種（含む表層板）： ・なら ・さくら ・ひのき ・ぶな
表層化粧板の厚さ： ・2mm以上
仕上げ塗装等： ※塗装品 ・無塗装品
ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ 第三種 (19.5.2)

⑨ 畳敷き
・材質：表 A種 裏 (19.6.2) （表19.6.1）

下地の種類	畳の種別
標仕表12.5.1による床組	※B種 ・
ポリスチレンフォーム床下地（・ノンフロンG）	※C種 ・

畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする

10 ポリスチレンフォーム床下地材
・ノンフロンのもの G
畳下地 厚さ（mm） ※40 ・65 ・80
フローリング類 厚さ（mm） ※80 ・95

⑪ せっこうボードその他のボード張り (19.7.2) （表19.7.1）

種類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板	HW G	・15 ・20 ・25 ・
・普通木毛セメント板	NW G	・15 ・20 ・25 ・
・硬質木片セメント板	NF G	・15 ・20 ・25 ・
○けい酸カルシウム板 ○化粧けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ2（無石綿）（・6 ・8 ○12 ） タイプ2（無石綿）（○6 ・8 ・10 ）
・ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ（※9（不燃）・12 ・ ） ・凹凸タイプ（※12（不燃）・15・19・ ）
・せっこうボード	GB	※12.5（不燃） ・9.5（準不燃）
・不燃積層石膏ボード	GB-NC	9.5（不燃） 化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
○シージング石膏ボード	GB-S	○12.5（不燃） ・9.5
・強化石膏ボード	GB-F	12.5（不燃） 15.0（不燃）
・石膏ラスボード	GB-L	9.5
○化粧石膏ボード（木目）	GBDW	9.5（不燃）幅440mm程度 模様（※柾目 ・板目） 専用下地材付き
○普通合板	G	○生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ○不透明塗料塗り（しな合板程度）
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による 厚さ1.2
・ハードボード（素地）	HB G	・素地 ・RN−HB ・RS−HB ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・インシュレーションボード	IB G	・T−IB ・A−IB ・S−IB ・9 ・12 ・15 ・18 ・

合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・第三種
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 (19.7.2) （表9.6.1）
※適用する ・適用しない

12 吸音材 (表19.7.1)

種類	JISの記号	厚さ（mm）
・ロックウール吸音ボードI号	RW−B	※25 ・
※グラスウール吸音ボード32K	GW−B	※25 ・ 50

⑬ 壁紙貼 (19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類					防火性能	標準定価
	紙	繊維（織物）	プラ（ビニル）	その他（化学繊維）	無機質		
図示			○			・不燃・準不燃・難燃	
						・不燃・準不燃・難燃	
						・不燃・準不燃・難燃	
						・不燃・準不燃・難燃	
						・不燃・準不燃・難燃	
						・不燃・準不燃・難燃	

素地ごしらえ (表18.2.4) （表18.2.7）
モルタル、プラスター面 ※B種 ・A種（施工箇所： ）
せっこうボード面 ※B種 ・A種（施工箇所： ）
壁紙のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 (19.8.2)

14 浴室天井材
市販品

材質	表面仕上げ	性能	幅（mm）	備考
※アルミニウム製	※焼付け塗装品 ・アルマイト処理品	準不燃品	※200 ・100	回り縁は磁付きとし、製造所の標準品とする。
・硬質塩ビ製	※塗装品 ・木目調		※300 ・100	

⑮ 断熱材 (19.9.2,3)

種類		施工箇所	厚さ（mm）	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25 ・35	※ノンフロンのもの G ・特定フロンを使用しないもの
	※3種b（スキン層付）	・接地部分	※25 ・50	
○現場発泡断熱材	※A種1	※断熱材補修部分	――	※ノンフロンのもの G ・特定フロンを使用しない
		○一般部	※15 ○25	難燃性※3級 ・2級 ・難燃材料相当品
・断熱材兼用型枠	・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系	※壁（図示の範囲）	※40以下	断熱抵抗 ＝厚さ/熱伝導率 ＝0.676以上 （㎡・k/w）
		製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの		

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・第三種

20 ユニット及びその他の工事

⑯ 特殊合板
・天然木化粧合板 樹種： ・桜 ・チーク ・楢 ・その他（ 練付合板：シオジ ）
防火性能： ・不燃 ・難燃
○特殊加工合板 種類： ○メラミン化粧合板 ○ポリエステル化粧合板 ・プリント合板

17 塩ビ製化粧フィルム

18 その他

① フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	構法	仕上り高（mm）	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	標準仕様
	・パネル構法	図示	・1.0G	・3,000N	・ビニル床タイル	
	・溝構法		・0.6G	・5,000N	・タイルカーペット	
	・パネル構法	図示	・1.0G	・3,000N	・帯電防止床タイル	
	・溝構法		・0.6G	・5,000N	・タイルカーペット	
	・パネル構法	図示	・1.0G	・3,000N	・帯電防止床タイル	
	・溝構法		・0.6G	・5,000N	・タイルカーペット	

材質： ・アルミダイカスト ○鋼製 ・プラスチック樹脂 ・その他（ ）
○アクピ：フリーフロアーCP 同等以上
表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による
スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・図示
コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様 （コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数は図示
配線用取り出しパネル 配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口
1ヶ所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20〜30% ・
空調用吹き出しパネル ※無し
・有り（※図定式 ・可変式 ：施工箇所は図示）

2 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ（mm）	表面材種厚さ（mm）	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式		※鋼板 （※0.6 ・0.8） ・アルミ製	※メラミン樹脂又は ・アクリル樹脂焼付け ・	・あり （ ） ・なし	・あり ・なし

3 移動間仕切 (20.2.4)

遮音性能	厚さ（mm）	表面材	操作方法
・一般タイプ	・図示による	※鋼板	・手動式 ・電動式
・遮音タイプ（36db以上）		※鋼板	・部分電動式

仕上げ材： ・樹脂塗料焼付け ・壁紙貼 ・天然木化粧合板 ・塩ビ化粧シート（ｶﾞｲｯｸｼｰﾄ）
表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による
遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する

4 学校間仕切
材質： ・木製（樹種： ） ・アルミ製 ・その他（ ）
型式： ・固定式 ・可動式

5 トイレブース (20.2.5)
表面仕上げ材
※メラミン樹脂系化粧板（標準色 アルミ製コーナーエッジ付き）
・ポリエステル樹脂系化粧板
・ダイノックシート
足形状 ※幅木型 ・足金物型

6 階段滑止め (20.2.6)
・材料・巾： ・ステンレス（ mm） ・アルミニウム（ mm） ・真鍮（ mm）
・型式： ・タイヤ入り（ mm） ・タイヤ無

7 階段・廊下手摺

種別	施工箇所
・樹脂被覆	階段
・ＳＵＳ製 ＨＬ仕上	
・スチール製：溶融亜鉛ﾒｯｷの上、ＤＰ塗装	

※詳細は図示による

8 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

種類		寸法（mm）	色彩	備考
・黒板	※焼付け		※緑 ・黒	※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分
			※緑 ・黒	
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分

枠はアルミ製とし、付属品１式付き

9 鏡 (20.2.9)
寸法（mm） ・図示 ・
厚さ（mm） ※5 ・

10 表示・標識 (20.2.10)
衝突防止表示
※図示（市販品 ※ステンレス製 径約30mm ・プラスチック製 ）
（・両面 ・片面）
・無し
表示標識、案内用図記号についてはJIS Z 8210による
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。

11 ブラインド (20.2.12)

形式	種類	スラットの材質	スラットの幅（mm）
※横型	※ギヤ式 ・コード式	※アルミニウム合金製	※25
	・操作棒式	・プラスチック	・15
・縦型	・1本操作コード	・アルミスラット	・80
	※2本操作コード	・クロススラット	・100

第13分団詰所改築	工事設計図	作図年月日 '20.2	縮尺 A3縮小 −	株式会社 kagura 建築デザイン事務所 一級建築士事務所 第01A04683号 H30.12.25 一級建築士 第146129号 梶本泰彦 □ kobe：兵庫県神戸市中央区楠町6丁目10−12 301号 □ nishiwaki：兵庫県西脇市黒田庄町喜多1516番地の203 □ ono：兵庫県小野市黒川町94−123
特記仕様書3				

承認	承認	担当	担当	担当	物件番号	図面番号
					2019029	A − 004